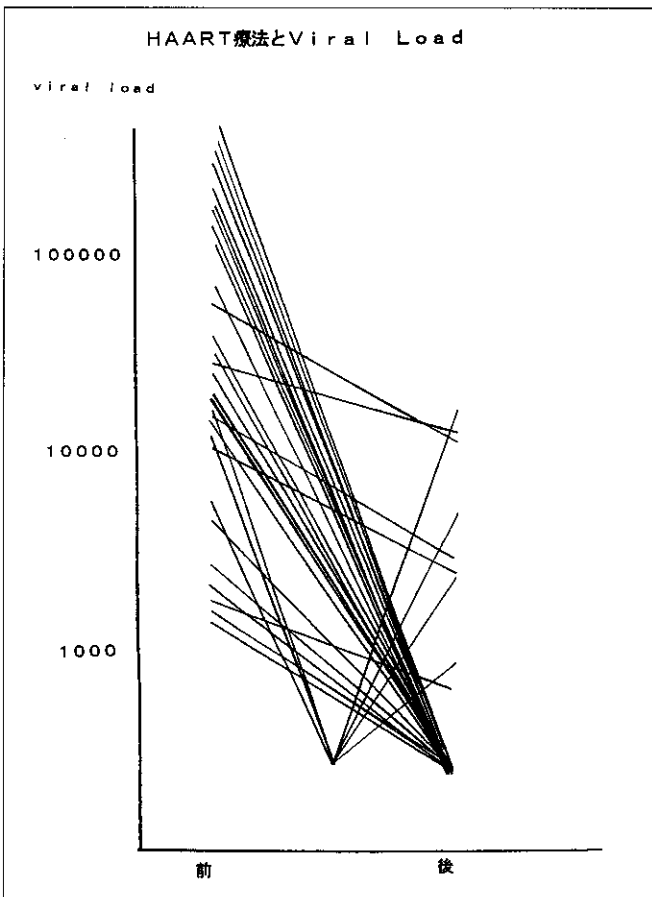


●薬剤耐性を示す患者の増加



●服薬支援をテーマにした研修会

《 研修プログラム 》

日 時：平成10年 9月26日(土)
 AM10:00 ~ PM 5:00
 (受付時間は9:30より開始いたします。)

場 所：国立名古屋病院
 外来棟5階・特別会議室

研修内容：服薬援助について

9:30~10:00 受付

10:00~10:30 オリエンテーション(服薬体験)

10:30~12:00 講 演 (都立駒込病院感染症科:今村顕史先生)

12:00~13:00 昼 食 (昼食はこちらで用意いたします。)

13:00~13:40 患者の服薬体験談 1

13:50~14:30 患者の服薬体験談 2

14:30~15:00 休 憩

15:00~16:00 講 演(国立名古屋病院薬剤科:岸 達生先生)

16:00~17:00 講 演
 (都立駒込病院感染症科外来看護婦:堀 成美先生)

●服薬支援をテーマにしたワークショップ

《エイズ看護を通じて学ぶスキル・トレーニング》

1. 研修の目的
 アメリカ健康教育の行動変容論を基礎とした対象(例:患者)の心理的・社会的背景の理解とそのためスキル(技術)を提供する Psychosocial Training と呼ばれるものがあります。これは、医療者が自分の価値観に気づき、医療情報と自分個人の価値観とを混同しないようにする医療者のトレーニングであり、患者自身が自分の課題に気づき、その課題に対する自分の行動を自ら変えていけるよう、医療者がサポートする方法を身につけるトレーニングです。プロテアーゼ阻害剤を含む抗 HIV 薬の併用療法は、HIV 感染者やエイズ患者の病状改善に顕著な効果をもたらしました。但し、この改善効果をもたらすには、正確な服薬が必須です。服薬時間や服薬方法、一日の服薬回数と錠剤の数、保管方法など、患者の生活への影響が大きく、患者の行動を決定する患者の意識(気づき)が治療を左右します。この患者の意識(気づき)に対しての医療者の関わり方を今回の研修では学びます。
2. 研修指導者
 ライフファンデーション国際教育(ハワイ)
 ディレクター・馬場 萌 先生
3. 研修対象者
 HIV看護に携わっている、またはこれから携わる予定の看護職を対象とし、研修終了後、各施設で研修成果を生かす事ができる者
4. 研修日時
 平成10年9月23日(水)午前9:30~午後5:00
5. 研修場所
 国立名古屋病院・会議室

●通訳養成ミニセミナー

東海ブロック HIV/AIDS 患者支援通訳養成セミナーのご案内

日 時：1999年3月27日(土) 午前10時30分~午後4時30分

場 所：国立名古屋病院 外来棟 5階 第1会議室
 〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1
 JR名古屋駅下車
 地下鉄 ①東山線 名古屋~栄、乗り換え、名城線 栄~市役所 1番出口
 ②桜通線 名古屋~久屋大通、
 乗り換え、名城線 久屋大通~市役所 1番出口

セミナー日程：10:15 受付
 10:30 HIVの日本における現状・治療最前線
 国立名古屋病院 臨床研究部長 内海 眞 医師
 12:00 昼食
 13:00 幼少期を通じての HIV 患者が抱える問題について
 国立名古屋病院 カウンセラー 菊池 恵美子
 14:00 グループワーク(ロールプレー)
 医師から患者への告知
 告知後のカウンセラーとの面談等
 16:00 セミナーのまとめ

*セミナー参加希望者は3月16日現在9人です。
 男性2人:日本人2人
 女性7人:日本人2人・日系ブラジル人及びペルー人5人

*セミナー協力者として、エイズ予防財団;岩木エリーザさん、新宿保健所エイズカウンセラー;柴ロルイスさん、県西部浜松医療センター;ロベルト本田さんに依頼してあります。

*このセミナーへご参加頂ける方にはロールプレーのお手伝いをお願いする事がありますので、ご協力の程よろしくお願いたします。また、弁当等の注文がございますので申し訳ありませんが3月23日(火)までに菊池へご連絡ください。(内線2434、PHS 3287)

●東海ブロックエイズ診療拠点病院名簿

1999.1月現在

病院名	住所 電話番号・FAX	診療代表者名	ベッド数	診療科名	結核病棟	カウンター セラニー	インターネット
岐阜県							
岐阜県立岐阜病院	〒500-8226 岐阜市野一色4-8-1 ☎058-246-1111 FAX058-248-3805	山崎嘉久(小児)	525床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、胸、眼、耳、 皮、小、麻、放、齒	有	有	有
岐阜大学医学部附属病院	〒500-8705 岐阜市司町40 ☎058-265-1241 FAX058-266-7347	鶴見 寿(1内)	606床	内、外、産婦、整、泌、胸、眼、耳、皮、小、 麻、精、放、齒	無	無	無
県立多治見病院	〒507-8522 多治見市前畑町5-161 ☎0572-22-5311 FAX0572-25-1246	後藤和夫(消内)	715床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	有	無	無
厚生会木沢記念病院	〒505-0034 美濃加茂市古井町下古井580 ☎0574-25-2181 FAX0574-26-2181	河合英博(消内)	332床	内、外、産婦、整、泌、胸、眼、耳、皮、小、 麻、放	無	有	計
岐阜県立下呂温泉病院	〒509-2292 岐阜県益田郡下呂町幸田1162 ☎0576-25-2820 FAX0576-25-5822	細江雅彦(内)	338床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、 小、麻、精、放、齒	無	無	無
国立療養所岐阜病院	〒500-8718 岐阜市日野東5-1-1 ☎058-243-5511 FAX058-241-2610	加藤達雄(呼内)	300床	内、外、胸、皮、小、麻、放	有	無	有
高山赤十字病院	〒506-8550 高山市天満町3-11 ☎0577-32-1111 FAX0577-34-4155	亀谷正明(内)	540床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、小、 精、放、齒	無	有	有
静岡県							
国立東静岡病院	〒411-0905 静岡県駿東郡清水町長沢762-1 ☎0559-75-2000 FAX0559-75-2725	大場修司(泌)	500床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、小、 麻、放、齒	無	無	無
沼津市立病院	〒410-0302 沼津市東権路字春ノ木550 ☎0559-24-5100 FAX0559-24-5133	永井 順(内)	500床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、眼、 耳、皮、小、外、麻、放、齒、神内、リハ	無	無	無
富士宮市立病院	〒418-0076 富士宮市錦町3-1 ☎0544-27-3151 FAX0544-23-7232	水野義仁(小児)	350床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、小、 麻、放	無	無	無
清水市立病院	〒424-8636 清水市宮加三1231 ☎0543-36-1111 FAX0543-34-1173	増田昌文(内)	500床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、眼、 耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	無	無
静岡市立静岡病院	〒420-8630 静岡市追手町10-93 ☎054-253-3125 FAX054-252-0010	望月敏弘(口外)	600床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	無	計
焼津市立総合病院	〒425-8505 焼津市道原1000 ☎054-623-3111 FAX054-624-9103	立花昭生(呼内)	601床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、眼、 耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	無	計
藤枝市立総合病院	〒426-8677 藤枝市殿河台4-1-11 ☎054-646-1111 FAX054-646-1122	築地治久(神内)	660床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	有	有	有
市立島田市市民病院	〒427-8502 島田市野田1200-5 ☎0547-35-2111 FAX0547-36-9155	加川大三郎(内)	756床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、眼、 耳、皮、小、麻、精、放、齒	有	無	無
磐田市立総合病院	〒438-8550 磐田市大久保512-3 ☎0538-38-5000 FAX0538-38-5050	高橋武昭(血液)	332床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、小、 精	無	無	計

右の3項目について1997年の調査と比較すると*印のところから無になった場合は変わっていない。

病院名	住所 電話番号 FAX	診療代表者名	ベッド数	診療科名	結核病棟	カウンセラー	インターネット
浜松赤十字病院	〒430-0907 浜松市高林1-5-30 ☎053-472-1151 FAX053-472-3751	早川正勝(内)	394床	内、外、産婦、整、泌、脳、形成、眼、耳、 皮、小、精、放、循、呼、リユウ、肛、心内、リハ	無	有	有
総合病院聖隷浜松病院	〒430-8558 浜松市住吉2-12-12 ☎053-474-2222 FAX053-471-6050	井原道生(血液)	744床	内、神内、外、産婦、整、泌、脳、形成、眼、 耳、皮、小、麻、精、放	無	有	計
共立湖西総合病院	〒431-0431 湖西市蟹津2259-1 ☎053-576-1231 FAX053-576-1119	菊池 敏(産婦)	280床	内、神内、外、産婦、整、泌、眼、耳、皮、 小	無	有	計
富士市立中央病院	〒417-8567 富士市高島町50 ☎0545-52-1131 FAX0545-51-7077	山田治男(内)	610床	内、外、産婦、整、泌、脳、形成、眼、耳、 小、麻、精、放、皮、循、心血、リハ	有	有	有
静岡県立総合病院	〒420-0881 静岡市北安東4-27-1 ☎054-247-6111 FAX054-247-6140	塩村惟彦(血液)	700床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、放、齒	有	無	無
静岡県立こども病院	〒420-8660 静岡市浅山860 ☎054-247-8251 FAX054-247-6299	三間屋純一(血液)	200床	神内、外、整、泌、胸、脳、形成、眼、耳、 皮、小、麻、放、齒	無	有	計
浜松医科大学医学部附属病院	〒431-3192 浜松市半田町3600 ☎053-435-2111 FAX053-435-2153	小林隆夫(産婦)	613床	内、外、産婦、整、泌、脳、眼、耳、皮、小、 麻、精、放、齒	無	無	有
県西部浜松医療センター	〒432-8580 浜松市富塚町328 ☎053-453-7111 FAX053-452-9217	矢野邦夫(血液)	600床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	無	計
総合病院聖隷三方原病院	〒433-8558 浜松市三方原町3453 ☎053-436-1251 FAX053-438-2971	千原 明(内)	750床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、 耳、皮、小、麻、精、心療、アレルギ一	有	有	有
静岡済生会総合病院	〒422-8527 静岡市子鹿1-1-1 ☎054-285-6171 FAX054-285-5179	竹内元二(血液)	779床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、眼、耳、 皮、小、麻、精、放、齒、小外、循、呼、リハ、歯口	無	有	計
順天堂大学医学部附属 順天堂伊豆長岡病院	〒410-2211 静岡県田方郡伊豆長岡町長岡1129 ☎0559-48-3111 FAX0559-48-5088	前川武男(外)	355床	内、神内、外、整、胸、脳、形成、眼、耳、 小、麻、精、放、齒	無	無	無
三 重 県							
三重県立総合医療センター	〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 ☎0593-45-2321 FAX0593-47-3502	馬場 優(内)	380床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、 小、麻、精、放、齒	無	有	有
三重大学医学部附属病院	〒514-8507 津市江戸橋2-174 ☎059-232-1111 FAX059-231-5200	南 信行(輸血)	731床	内、神内、精、外、整、婦、小、皮、泌、 眼、耳、放、胸、齒、精、麻、脳	無	無	計
山田赤十字病院	〒519-3100 三重県度会郡御園村高向810 ☎0596-28-2171 FAX0596-28-2965	辻 幸太(内)	635床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、 耳、皮、小、麻、精、放、齒	有	有	計
国立三重中央病院	〒514-1118 久居市明神町2158-5 ☎059-259-1211 FAX059-256-2651	多喜紀雄(小児)	306床	内、外、産婦、整、泌、眼、耳、皮、小、麻、 精、放、齒	無→有	無	有

病院名	住所 電話番号 FAX	診療代表者名	ベッド数	診療科名	結核病棟	カウンセラー	インターネット
愛知県							
国立名古屋病院	〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1 ☎052-951-1111 FAX052-951-0864	内海 眞 (血液)	795床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	有	有
名古屋第一赤十字病院	〒453-0046 名古屋市中村区道下町3-35 ☎052-481-5111 FAX052-482-7733	小寺良尚 (血液)	900床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	有	有	無
名古屋第二赤十字病院	〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町2-9 ☎052-832-1121 FAX052-832-1130	平林憲之 (血液)	835床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、外、麻、精、放、齒	有	無	無
豊橋市民病院	〒441-8085 豊橋市青竹町八間西50 ☎0532-33-6111 FAX0532-33-6177	西村 豊 (小児)	920床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	有	無	有
岡崎市民病院	〒444-8553 岡崎市高塚寺町あざ五所合3-1 ☎0564-21-8111 FAX0564-25-5531	鈴木久三 (血液)	850床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒、小外、呼、下	無	有	有
小牧市民病院	〒485-0044 小牧市常普請1-20 ☎0568-76-4131 FAX0568-76-4145	内藤和行 (血液)	544床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	有	無
愛知県立尾張病院	〒491-0934 一宮市大和町安賀2135 ☎0586-45-5000 FAX0586-45-6800	吉友和夫 (内)	330床	内、外、整、胸、脳、眼、耳、小、麻、放、 齒	有	無	無
国立療養所東名古屋病院	〒465-0065 名古屋市長区梅森坂5-101 ☎052-801-1151 FAX052-802-1987	笹本基秀 (呼内)	500床	内、神内、外、整、胸、麻	有	無	計
名古屋市立東市民病院	〒484-0071 名古屋市千種区若水1-2-23 ☎052-721-7171 FAX052-721-1308	大羽健一 (伝染)	538床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、 耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	無	無
名古屋大学医学部附属病院	〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65 ☎052-741-2111 FAX052-741-2880	高松純樹 (輸血)	935床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒	無	有	無
名古屋市立大学病院	〒467-0001 名古屋市長区瑞穂町字川澄1 ☎052-851-5511 FAX052-851-4901	溝上雅史 (2内)	560床	内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、耳、皮、小、 麻、精、放、齒	無	無	無
愛知県厚生連更生病院	〒446-8602 安城市御幸本町12-38 ☎0566-75-2111 FAX0566-76-4335	阪上 洋 (泌尿)	698床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、眼、 耳、皮、小、麻、放	無	無	無
愛知医科大学附属病院	〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字雁又21 ☎0561-62-3311 FAX0561-62-4866	加藤芳郎 (血液)	1271床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒、心外、呼、リウ	無	無	有
藤田保健衛生大学病院	〒470-1192 豊明市岩手町田菜ヶ窪1-98 ☎0562-93-2111 FAX0562-93-3711	浅野喜造 (小児)	1673床	内、神内、外、産婦、整、泌、胸、脳、形成、 眼、耳、皮、小、麻、精、放、齒			有

●拠点病院に対する外国人問題に関するアンケート調査

病院名 ()

① あなたの病院で今までに HIV 感染及び AIDS になった外国人患者を診療した事がありますか？
(はい、 いいえ)

② ①で「はい」と答えた病院の方は以下の質問に答えてください。
①で「いいえ」と答えた病院はこの用紙を返送してください。

2-1. 今までに何人の外国人患者を診療されましたか？ () 人)

2-2. 患者の治療状況をお答えください。
* 貴病院で継続治療中 () 人)
* 他病院で継続治療中 () 人)
* 帰国 () 人)
* 国内で行方不明 () 人)
* 帰国したが行方不明 () 人)

2-2. 患者の国籍と性別についてお答え下さい。
(国籍を○で囲み、人数を記入してください。)

* 国籍	アメリカ	男性	人	女性	人
	イギリス	男性	人	女性	人
	インド	男性	人	女性	人
	エチオピア	男性	人	女性	人
	ウガンダ	男性	人	女性	人
	韓国	男性	人	女性	人
	タイ	男性	人	女性	人
	中国	男性	人	女性	人
	フィリピン	男性	人	女性	人
	ブラジル	男性	人	女性	人
	ペルー	男性	人	女性	人
	その他	男性	人	女性	人

2-3. 外国人患者のビザ資格と健康保険の有無についてお聞きします。
* 健康保険とビザの両方ある患者さんは何人ですか？ () 人)
* 健康保険は有るがビザの無い患者さんは何人ですか？ () 人)
* 健康保険もビザも両方無い患者さんは何人ですか？ () 人)
* 健康保険やビザの有無については不明の患者さんは何人ですか？ () 人)

2-4. 外国人患者の診療費支払い状況についてお聞きします。
* 診療費支払に未収の無い患者は何人ですか？ () 人)
* 未収が無いのはなぜですか？(複数回答可)
1. 保険が有る
2. 身体障害者手帳を取得している
3. 保険は無いが経済的ゆとりがある
4. その他
* 診療費支払で未収がある患者は何人ですか？ () 人)
* 未収があるのはなぜですか？(複数回答可)
1. 保険が無い
2. 帰国
3. 国内に居るが行方不明
4. その他

2-5. 身体障害者手帳の取得についてお聞きします。
* 手帳取得者は何人いますか？ () 人)
* 手帳申請中患者は何人いますか？ () 人)
* 手帳申請をしていない患者は何人いますか？ () 人)

2-6. 2-5. で手帳取得者あるいは申請中の患者がいる病院にお聞きします。
* 手帳申請手続きは病院が代行しましたか？ (はい、 いいえ)
* 手帳申請手続きは患者本人が行いましたか？ (はい、 いいえ)
* その他

2-7. 外国人患者とのコミュニケーションの問題についてお聞きします。
* 患者とのコミュニケーションで問題がありましたか？ (はい、 いいえ)
* 「はい」と答えた病院の方にお聞きします。どのような問題がありましたか？ 具体的にお書きください。
例) 患者の母国語を理解する者が病院内にいない。

* 「いいえ」と答えた病院の方にお聞きします。外国人患者とのコミュニケーションは具体的にどのようにされていますか？
例) 通訳者が病院内にいる。

③外国人患者を診療するときに困難な事がありましたらお書きください。また、今後の外国人患者の診療にしまして何か御提案がございましたらお書きください。

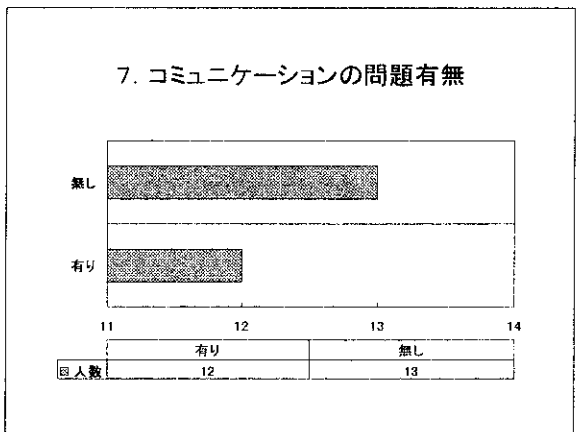
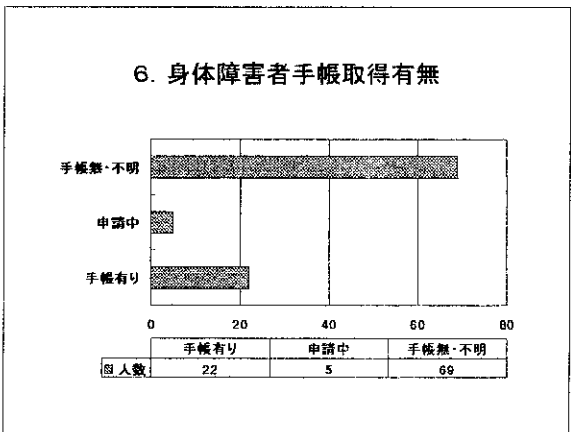
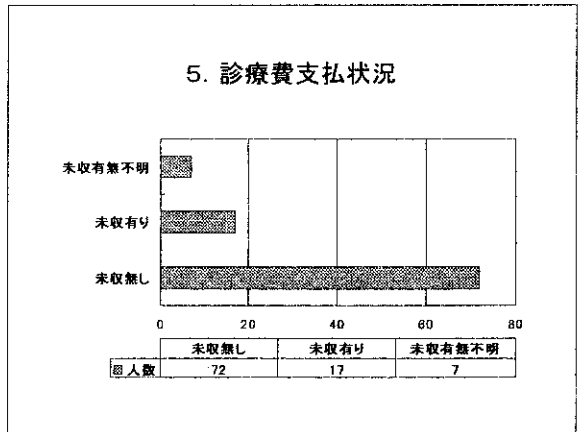
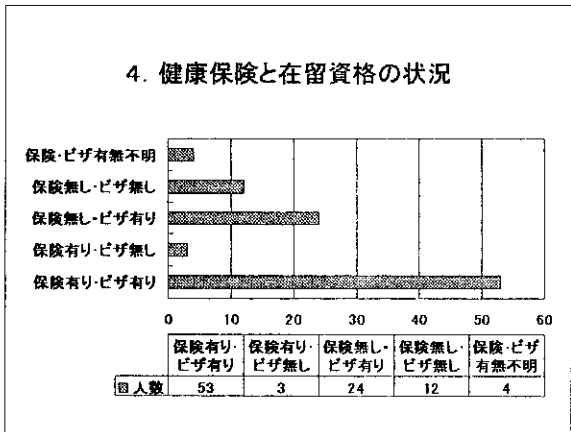
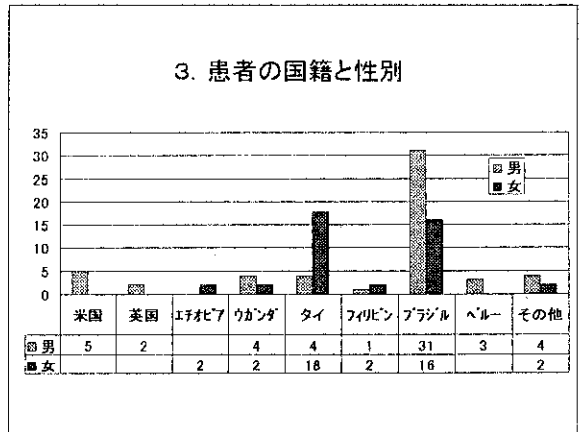
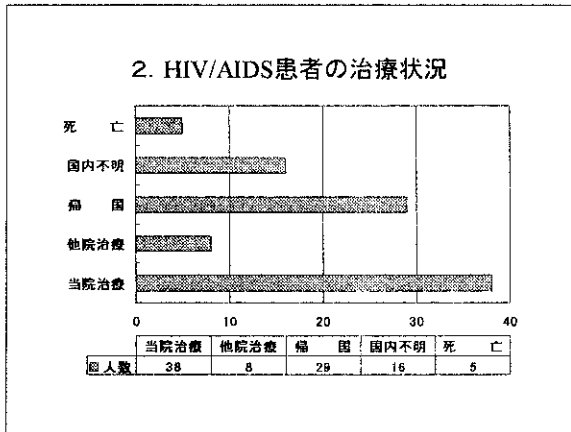
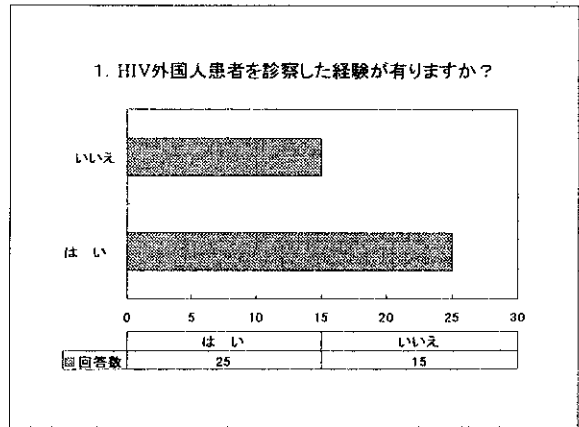
以上で、アンケートは終了です。本当にご協力ありがとうございました。

●アンケート調査結果

東海ブロックエイズ拠点病院外国人患者状況

東海ブロックエイズ診療拠点病院数 45施設

アンケート回収率 89%



●保健所と拠点病院間の連携に関するアンケート調査

アンケート

1. HIV抗体検査可能な時間帯に○をつけて下さい。

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後							
夜間							

※夜間可能な場合時間帯をご記入下さい。

2. 昨年1年間（平成10年1月～12月）のHIVの抗体検査総数、（もしデータがあればその男女別）および陽性件数をご記入下さい。

総数 例（男性 例・女性 例）

陽性件数 例

3. HIV抗体検査前あるいは後のカウンセリングを施行していますか？いずれかに○をつけて下さい。

前 している していない

後 している していない

4. カウンセリングは誰が、どの場所で行っていますか？

カウンセリングを行う人 :

カウンセリングの場所 :

5. 陽性告知の後、具体的にどのような指示あるいは情報を与えていますか？また、患者さんが病院を受診するためにどのような Follow Up をされていますか？（例えば病院まで付き添う、NGOに連絡する）

6. これまでの医療施設に紹介されましたか？

病院 例

病院 例

病院 例

7. HIV抗体検査に関してこれまでにお感じになった問題点をお書き下さい。

8. ブロック拠点病院に対するご意見ご要望をお書き下さい。

●ブロック拠点病院自己評価表 東海ブロック

1. 人的体制

		1997年3月現在	1998年3月現在	1999年3月現在	2000年3月予定	
1-1-1	専門医師	人数	2人	2人	2人	3人
1-1-2	専門看護婦	人数	0人	2人	2人	2人
1-1-3	カウンセラー	人数	0人	1人	1人	1人
1-1-4	情報担当員	人数	0人	1人	1人	1人
1-1-5	レジデント	人数	0人	0人	0人	0人
1-2-1	全科(医療職)対応	5段階評価	3	5	5	5
1-2-2	院内一般職員の対応	5段階評価	2	4	4	5

2. 施設・設備

		1997年3月現在	1998年3月現在	1999年3月現在	2000年3月予定	
2-1-1	専門外来	有無	無	有	有	有
2-1-2	個室の外来診療室	有無	有	有	有	有
2-1-3	外来でのカウンセリングルーム	有無	無	有	有	有
2-1-4	外来でのベンタミジン吸入室	有無	無	無	無	有
2-1-5	外来での気管支鏡検査室	有無	無	有	有	有
2-1-6	外来での観血的処置室	有無	無	無	有	有
2-1-7	外来での歯科診療室	有無	無	無	有	有
2-2-1	入院病棟の確保	5段階評価	3	4	5	5
2-2-2	入院でのプライバシーの対策	5段階評価	5	5	5	5
2-2-3	専門病棟個室	有無	有	有	有	有
2-2-4	緊急入院対応	5段階評価	4	5	5	5
2-2-5	病棟でのカウンセリング室の確保	有無	無	無	無	無
2-3-1	診療に要する機器の整備	5段階評価	3	4	5	5
2-3-2	検査に要する機器の整備	5段階評価	3	4	5	5
2-3-3	情報交換用コンピューター	5段階評価	2	3	5	5
2-4-1	感染者に対する手術室対応	5段階評価	3	4	4	5
2-5-1	感染者に対する病理解剖室対応	5段階評価	3	3	4	5

3. 診療・機能

		1997年3月現在	1998年3月現在	1999年3月現在	2000年3月予定	
3-1-1	各種診療部参加による院内エイズ診療対策中央委員会の開催	有無	有	有	有	有
3-1-2	外国人用診療マニュアルの作成	有無	無	無	有	有
3-2-1	診療マニュアルの作成	有無	無	有	有	有
3-2-2	投薬マニュアルの作成	有無	無	有	有	有
3-2-3	エイズ医療情報ネットワークの利用度	5段階評価	3	4	4	5
3-3-1	院内研究会、症例検討会、講演会等の開催	回数	10回	20回	15回	15回
3-3-2	個々の患者治療に対する検討会の開催	有無	有	有	有	有
3-4-1	看護医療の満足度	5段階評価	4	4	4	5
3-5-1	カウンセラーの配置度	5段階評価	2	5	5	5
3-6-1	HIV抗体検査(ウエスタンブロットを含む)	有無	有	有	有	有
3-6-2	CD4/CD8陽性細胞検査	可・不可	可	可	可	可
3-6-3	ウイルス量の定量	可・不可	不可	可	可	可
3-6-4	ウイルス薬剤耐性検査	可・不可	不可	可	可	可
3-6-5	カリニの迅速診断	可・不可	不可	可	可	可
3-6-6	日和見感染症のPCR診断等	可・不可	不可	可	可	可
3-7-1	エイズ医療センターによる研修会の参加	回数	1回	3回	2回	5回
3-8-1	針刺し事故の防止マニュアルの作成	有無	有	有	有	有
3-8-2	針刺し事故に対する体制の確立	有無	無	有	有	有
3-8-3	治療薬の常時設置	有無	無	有	有	有
3-9-1	患者データの統一管理	有無	無	有	有	有
3-10-1	国内HIV専門病院への研修会	人数	2人	2人	1人	3人
3-10-2	国外HIV専門病院への研修会	人数	7人	12人	6人	6人
3-11-1	歯科専門診療	有無	有	有	有	有
3-12-1	守秘意識の徹底度	5段階評価	5	5	5	5

4. 拠点病院との連携

		1997年3月現在	1998年3月現在	1999年3月現在	2000年3月予定	
4-1-1	拠点病院対象の講演会、症例検討会等の開催	回数	2回	3回	3回	3回
4-1-2	拠点病院対象の検査講習会の開催	回数	0回	0回	0回	1回
4-1-3	拠点病院への情報提供(インターネットホームページ等の作成)	5段階評価	1	1	2	4
4-1-4	拠点病院への情報提供(印刷物、マニュアル、ニュース等)	5段階評価	1	3	3	5
4-1-5	他の拠点病院からの研修の受入体制	5段階評価	1	4	4	5
4-2-1	拠点病院との患者診療交換	5段階評価		4	4	5
4-2-2	拠点病院への何らかのアンケート調査	有無	有	有	有	有

5. ブロック内医療向上

		1997年3月現在	1998年3月現在	1999年3月現在	2000年3月予定	
5-1-1	ブロック内診療ネットワーク(NGO)の立ち上げ	有無	無	有	有	有
5-1-2	コーディネーター・ナースの研修	有無	無	有	有	有
5-1-3	ブロック内診療施設に対する講演会、勉強会等の開催	回数	1回	2回	3回	3回
5-1-4	医療相談会の開催	回数	0回	0回	0回	1回
5-1-5	ホームページ、コンピューター、ネットワーク体制の確立	5段階評価	1	2	3	4
5-1-6	ブロック内医療機関、一般等への印刷物による何らかの情報提供	5段階評価	3	4	4	5
5-1-7	患者手帳の作成	有無	無	無	有	有
5-1-8	遠隔地との患者輸送法の検討	5段階評価	2	4	4	4

エイズ治療の地方ブロック拠点病院と
拠点病院間の連携に関する研究

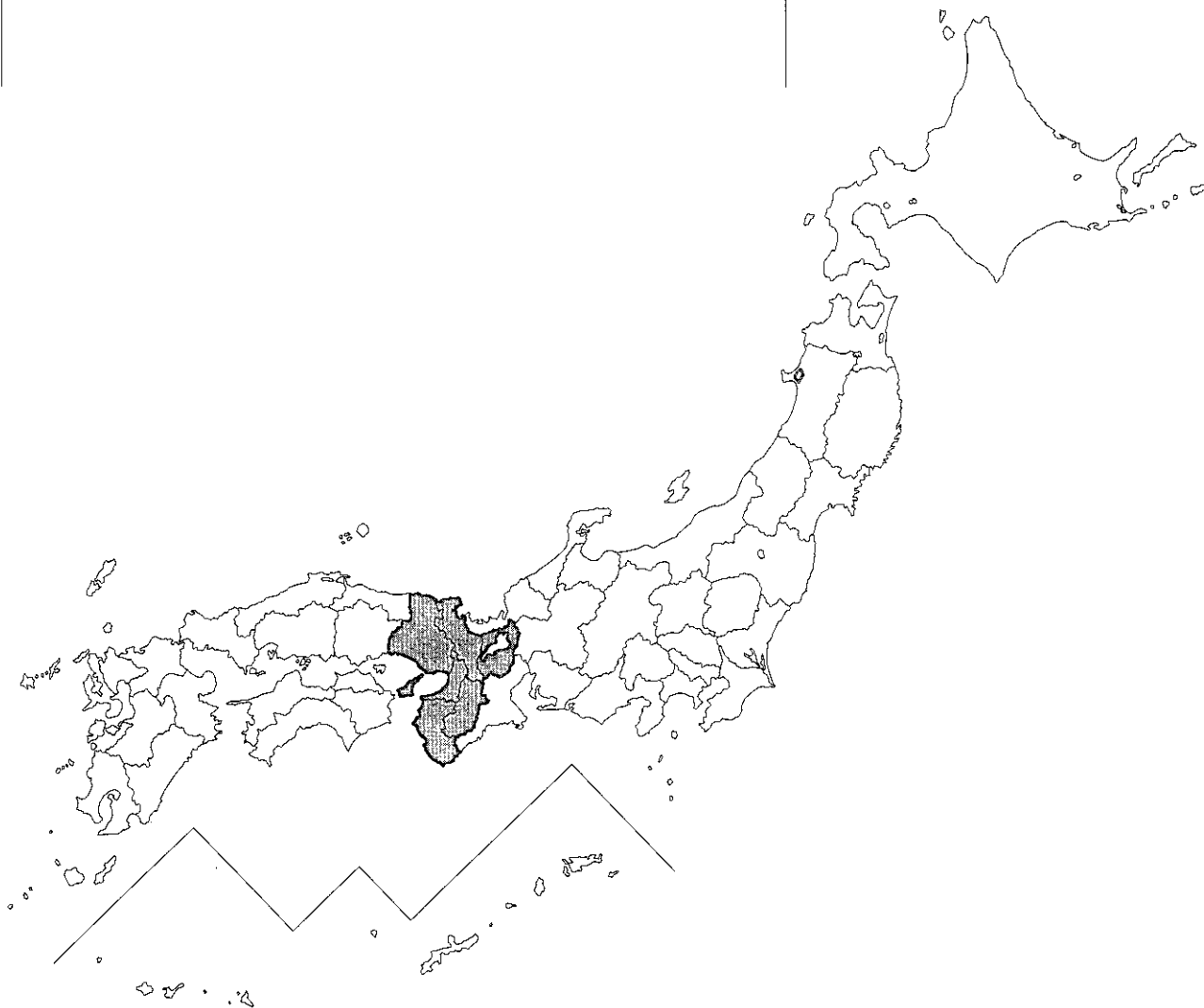
P A R T

7

近畿 ブロック

●分担研究者
国立大阪病院
総合内科

白阪琢磨



目的

本研究の目的は、近畿地方におけるブロック拠点病院および拠点病院等の間での連携の整備と充実を図ることである。前年度に引き続き、ブロック内のHIV診療に従事している医師等に速やかに日進月歩のHIV関連の最新情報を伝達するよう努める。またより緊密な病院間のネットワークを構築させていく。さらに最近重要視されている抗HIV薬の服薬に関して、患者のアドヒアランスを向上させるためのツールの作成や、実際の診療における患者の動線に沿って人的物的体制を整える。診療の流れにおける問題点や課題を洗い出し、そのノウハウを各拠点病院での診療に役立てられるようなマニュアルを作成する。

本研究目的の遂行のために、まず、前年度に引き続いて国立大阪病院におけるHIV診療体制の充実や検査体制の整備を図った。院内の診療体制については、医師、看護師、カウンセラー、薬剤師によるチーム医療の実践を目指した。検査体制では超高感度法によるウイルス量の定量や遺伝子レベルでの薬剤耐性検査システムを立ち上げた。日本語を理解できない患者については通訳としてNGO等に診療支援をお願いして対応した。次に近畿ブロック（滋賀県、京都府、兵庫県、大阪府、奈良県、和歌山県）内の拠点病院への情報提供、研修会等を開催した。本年度から身体障害者福祉法の中に（HIV感染症に基づく）免疫機能障害が内部障害として新たに加えられ、HIV感染者の身体障害者認定が可能となった。従って、この制度の趣旨や申請方法など手続きについて、ブロック内の医療従事者、事務職を対象とした研修会を開催した。また、本年度よりHIV診療支援システムの仮運用が開始され、同システムについての研修会も開催した。以下、項別に報告する。

ブロック拠点病院としての医療体制及び検査体制等の確立に向けて

方法

ブロック拠点病院として課せられた機能を果たすために医療体制を検討し必要な点を整備、充実を目指す。

結果

HIV医療体制の整備状況

ブロック拠点病院としてのHIV医療体制の確立については昨年度で概ね整備された。本年度はまず、HIV感染者の基礎疾患として重要な血友病診療の充実を行った。具体的には、本年4月から血友病専門内科医師を月に2回招聘して血友病外来の診療を開始した。これによって血友病診療が充実されたと考える。次に、HIV診療の実際において重要な患者の服薬アドヒアランスを向上させるために薬剤師による服薬相談の充実を図った。前年度に引き続き、HIV専任の薬剤師による外来での服薬相談を反復して患者に提供してきた。さらに、医師（内科、産婦人科）、薬剤師、

看護婦を約1カ月～2週間、アメリカ医療機関へ海外研修に派遣し、あわせてシカゴでのHIV関連学会にも参加させ、最先端のHIV診療を学び取得して帰国し、院内外に情報を提供した。

HIV関連検査

HIV関連検査については、昨年度より開始した遺伝子レベルでの薬剤耐性検査のルーチン化を図り、院外の検体についても対応できるようになった。さらに、7月より超高感度法を導入し血中ウイルス量を50コピー/mlまで測定できるようになった。薬剤耐性検査の実施と血中ウイルス量感度の向上によって、治療効果を改善できると期待されている。実際、これらのHIV診療、検査における整備によって、現在、多くの患者でウイルス量が検出限界以下に保たれている。

患者の受診状況

患者の受診状況はブロック拠点病院として稼働後、新規受診患者総数は100名を超え、延べ受診患者総数は1500名を超えた。外来では最近、非血友病患者における新規感染者が平均数人/月ずつ受診するようになってきており、近畿ブロックにおける感染の蔓延が危惧される。治療の進歩により患者の予後が一般的に改善し、HIV感染症も慢性疾患と捉えられるようになった。そのため、外来患者数は漸増傾向にあり、現在、毎月100名を超える延べ受診患者数がある。実際、多剤併用療法投与によって外来患者の中でエイズを発症している患者は皆無である。受診患者の内訳を見てみると、血液製剤による感染者が3割5分、それ以外の感染者が6割5分となっている。男女比率で見ると、

●平成9～10年度 外来HIV感染者来院状況(総合内科)

平成9年度 外来HIV感染者来院状況(総合内科)					
	新規患者数	転科患者数	カルテ数	月間延べ患者数	年間延べ患者数
4月	8	1	12	19	19
5月	2	3	17	21	40
6月	3	0	20	24	64
7月	5	1	26	28	92
8月	7	3	36	37	129
9月	2	0	38	37	166
10月	1	0	39	46	212
11月	1	0	40	38	250
12月	3	0	43	42	292
1月	4	0	47	54	346
2月	1	1	49	49	395
3月	7	0	56	72	467
合計	44	9	56		467

◆4月のカルテ数は、H9年4月以前の患者数に新規患者数と転科患者数を加えたものです。月平均の延べ患者数は、38.9名です。

平成10年度 外来HIV感染者来院状況(総合内科)					
	新規患者数	転科患者数	カルテ数	月間延べ患者数	年間延べ患者数
4月	2	3	61	69	69
5月	5	0	66	70	139
6月	5	0	71	79	218
7月	3	0	74	88	306
8月	3	0	77	82	388
9月	11	0	88	95	483
10月	5	1	94	113	596
11月	5	0	99	92	688
12月	4	0	103	115	803
1月	2	0	105	112	915
2月	4	0	109	103	1018

◆4月の転科患者3名は全員、当院皮膚科より。10月の転科患者1名は当院小児科より。月平均の延べ患者数は、92.5名です。

男9割・女1割という状況である。最近の傾向としては、血液製剤による感染者よりも、それ以外の感染者の新規受診が大幅に増加している。

入院については、延べで40名の入院患者があった。現実に入院患者を受け持った病棟では、病棟としても、あるいは個々の看護婦においてもHIVについての看護の質と技術の向上が認められた。ただ、当院では感染症個室の集中化を行っていないため、全科対応が容易である反面、病棟でのHIV看護の専門化が立ち遅れているきらいがあり、今後の課題と考えられた。

考察

当院はブロック拠点病院に選定され、本研究班の活動の一環として院内体制の整備を行い、一定の成果をあげてきたと考えている。その整備状況、期待される役割が実際にどうであるかについては、別表の自己評価や、あるいは本研究班の一活動である上田良弘分担研究者からのより客観性の高い報告を参照されたい。この2年間でHIV診療の専門化が進んだと考えられる。近畿における感染者/患者の新規報告数の増加を考慮し、ブロック拠点病院としてのHIV診療においては全科対応に加えてHIV診療（看護も含めた）の専門化が地域で強く期待されており、かつ必要であると考えられる。さらに受診者数の増加による入院数の増加は整備された感染症用個室数を恒常的に上回る可能性を予想させる。今後の入院患者増加への対応についても検討を要すると思われる。

地域拠点病院に対する連携、指導、教育に関して

方法

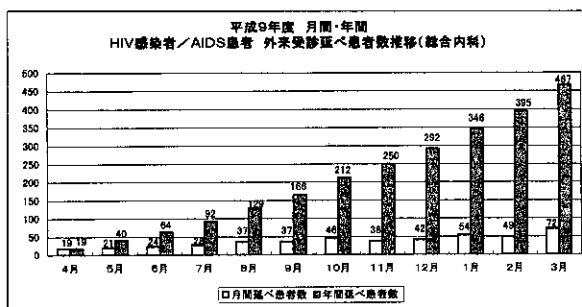
地域拠点病院に対する連携、指導、教育のために当該施設を対象とした研修会・講習会を実施したり、HIV診療支援システムの構築を推進する。また他施設への情報の発信基地としてインターネット上のホームページを作成する。さらに診療上の連携・支援として院外からの薬剤耐性検査も実施する。

結果

主な講習会・研修会について述べる。

- ・平成10年4月23日（木）
HIV感染者の障害者認定と更生医療に関する講習会
- ・平成10年7月28日（火）
平成10年度第1回近畿エイズ拠点病院医療従事者研修会
- ・平成11年2月5日（金）
HIV診療支援ネットワークシステム（A-net）講習会
（主催：近畿地方医務局）
- ・平成11年2月25日（木）
近畿ブロック都道府県・エイズ拠点病院等連絡会議

●平成9～10年度 外来受診延べ患者数推移



催しているが、本システムの理解の一助となるよう、当院においても講習会が開催された。会場では活発な質疑応答が行われた。複雑なA-netの仕組みや実際の疑問を解決できる場として、大きな役割を果たしたと思われる。参加者は30名であった。

4) 近畿ブロック都道府県・エイズ拠点病院等連絡会議(平成11年2月25日)

エイズ医療システムのあり方、HIV医療の最前線、A-netに関する講義が行われ、進歩を続けるHIV医療の現状について理解を深めた。さらに専門化していくHIV医療が浮き彫りにされたと思われる。今後も、近畿ブロック内でのHIV診療レベルの格差の是正のために、ブロック拠点病院としての研修機能強化が必要と思われた。

5) シンポジウム「エイズ医療体制の確立を目指して」(平成11年2月27日)

参加して、発表を行った。特にワークショップでは、外来及び入院における診療体制の現状と問題点についても発表した。会場ではプライバシー確保の問題、コーディネーター・ナースの役割、MSWの必要性などについて議論された。これからのHIV診療体制を考え、意見を交換する良い場となった。

6) HIV診療支援ネットワークシステム (A-net)

本年度11月よりHIV診療支援システム (A-net) の運用が開始された。このシステムの普及によって、受診患者の診療データを、患者自身が限定した施設間で共用することが可能となれば、HIV診療の地域格差、施設間格差の是正にも効果があると予想されるため、ブロック拠点病院として積極的な活動が必要である。

■ 地域特異的問題と解決に向けて

方法

地域特異的問題として近畿地方の地理的特徴、HIV診療に関しての歴史的背景、受診患者の特徴、疫学的特徴を検討し、問題点を整理する。

結果・考察

近畿地方は大阪を中心とする交通の便のよい地域が大半を占めており、東京など主要都市との交通も比較的容易と言える。このため地方を除く都市部の患者は、医療レベルに応じて東京への受診も珍しくはなかったとされている。歴史的には、当ブロックにはHIV担当医師のネットワーク(関西HIV臨床カンファレンス)が以前より活動を開始しており、医療機関の連携のできる母地が既にあった。ブロック拠点の活動で連携がさらに強められたと考えられる。大阪を中心とする関西では性感染を中心とした男性感染者数の増加が指摘されており、近畿地方が東京/関東に次ぐ感染の蔓延地域となる可能性を否定できない。そのため蔓延の防止のためにも疫学的見地を加味した今後の活動の必要性が痛感される。

■ その他

服薬指導支援・患者説明用ツールの開発及びHIV関連情報提供等

方法

以下のようなツールの作成、及び情報提供手段の構築を実現する。

- 1) 抗HIV薬データベース及び患者説明用アプリケーションの作成
- 2) 身体障害者手帳・更生医療・障害者医療等福祉サービス窓口の一覧作成
- 3) 「近畿HIV/AIDSセンター」のホームページ開設及び運用
- 4) 国立大阪病院「HIV診療紹介パンフレット」の作成

結果

1) 抗HIV薬データベース及び患者説明用アプリケーションの作成

服薬指導時に患者の興味を引き、注意を喚起し、最終的に病気に対して前向きな姿勢になってもらうため、コンピュータを活用した患者説明用アプリケーションを製作した。そのアプリケーションを使用しながら、専任の薬剤師が服薬相談を実施した。その利用によって、これから抗HIV薬の併用療法を開始しようとしている患者や、感染告知の衝撃から立ち直り平常心を取り戻した患者などからの良好な反応が得られ、それを機会として、患者自身に病気に対する興味が強まり、治療のための服薬を自分自身の問題として捉えられるようになった。それらの結果として、服薬アドヒアランスが向上した印象があった。

2) 身体障害者手帳・更生医療・障害者医療等福祉サービス窓口の一覧作成

本年度からHIV感染者の身体障害認定が可能になった。その具体的な申請窓口や申請方法など、患者の必要としている情報や、福祉事務担当者が知らなければならない情報として、近畿ブロック2府4県の制令指定都市、県庁所在地、市の関連福祉窓口の一覧を作成した。また申請方法もわかりやすくイメージ図で説明できるような資料、さらに電子文書(PDFファイル)を作成した。

この一覧を、平成10年4月23日に開催した「HIV感染者の身体障害者認定と更生医療に関する講習会」の参加者に手渡した。またカウンセラーや情報担当官から患者に対して、制度に関する説明がなされ、身体障害者手帳などの申請がスムーズに行われた。この結果、抗HIV薬や検査などの医療費のために治療が中断されていたような患者へも治療が可能となったといえる。

3) 「近畿HIV/AIDSセンター」のホームページ開設及び運用

平成10年10月より、国立大阪病院のホームページの中に、「近畿HIV/AIDSセンター」のページ(www.onh.go.jp/khac/)が開設された。その中には、患者が受診するために

必要な情報、外来診療日、初診手続きの流れ、診療スタッフの紹介、病院へのアクセス方法などが盛り込まれている。

さらにブロック拠点病院としての活動内容や、様々な治療情報を各方面から提供していただき、紹介している。最新の医療情報として、前述の海外研修を受けた医師・薬剤師からのレポート・情報がタイムリーに掲載・更新されている。

また「近畿HIV/AIDSセンター」のライブラリとして掲載できるように、現在もお各種HIV関連資料を電子化して、ホームページに掲載できるように準備を整えている。

4) 国立大阪病院「HIV診療紹介パンフレット」の作成

国立大阪病院のHIV診療を担当する総合内科免疫感染症グループを紹介するパンフレット（A4判カラー、4ページ）を作成した。このパンフレットをブロック内の拠点病院、医師会、行政（保健所）に送付した。このような手段を使うことによって、広く近畿のブロック拠点病院を知ってもらい、患者がスムーズに受診できるような体制を作っている。

なおこのパンフレットの内容は、「近畿HIV/AIDSセンター」のホームページでも紹介されており、アクセス可能な人は誰でも閲覧することができるようになっている。

考察

「HIV関連情報を如何に効率よく、的確に、かつタイムリーに提供していくか」。この問題は非常に大きいですが、本年度の試みは、情報提供手段を印刷物に限らないで、コンピュータアプリケーションや、電子文書、ホームページによる情報提供など、考えられる手段を用いて開発・作成したといえる。その内容に対する反応は明確ではないが、各方面の意見を採り入れつつ、今後更新、改良していきたいと考えている。特に患者団体からのホームページ「近畿HIV/AIDSセンター」に対する要望は大きく、今後の発展を期待されている。また今後の診療体制が充実するとともに、診療紹介パンフレットも改訂が必要と思われる。現在「HIV診療紹介パンフレット」の他に、患者学習用リーフレットの作成も計画している。

結論

本研究の多面的な班活動によって、昨年度に比べてもブロック拠点病院としての機能を強化できたと考える。拠点病院等との連携については、免疫機能障害に関する福祉サービスの導入や、HIV診療ネットワークの導入に対応した活動などは行ったが、まだまだ拠点病院との円滑な連携を生むまでには至っていないと考えている。今後は、日々に進歩するHIV診療レベルの向上・研鑽と関連情報の適切な提供を適宜行い、関連施設とのより緊密な連携が行われるように活動を続けていきたいと考える。

研究発表

(1) 論文発表なし。

(2) 学会発表

平成11年2月27日（土）

公開シンポジウム「エイズ医療体制の確立を目指して」

(i) 近畿ブロックにおける取り組み 白阪琢磨

(ii) ワークショップ「外来及び入院における診療体制の現状と問題点について」座長：白阪琢磨（総合内科医長）

副座長：桑原健（薬剤主任） 演者：古金秀樹（情報担当官）

資料1

HIV感染者の障害者認定と更生医療に関する講習会プログラム

日時：平成10年4月23日（木） 13：00～15：30

場所：国立大阪病院 第一会議室（管理棟5F）

プログラム：

- 13：00～13：05 「開会の辞」
国立大阪病院診療・研修部長 今泉昌利
- 13：05～13：15 「身障認定申請におけるHIV感染者の心理について」
国立大阪病院カウンセラー 重村文子
- 13：15～13：45 「免疫機能障害における身体障害者認定」
大阪府障害福祉課
- 13：45～13：55 質疑応答
- 13：55～14：25 「免疫機能障害における更生医療」
大阪府国民健康保健課
- 14：25～14：35 質疑応答
- 14：35～14：50 「HIV治療について」
国立大阪病院総合内科医長 白阪琢磨
- 14：50～15：10 「免疫機能障害における身障認定と更生医療手続きの実際（大阪市の場合）」
大阪市民生局
- 15：10～15：25 質疑応答及び事務連絡
- 15：25～15：30 「閉会の辞」国立大阪病院長 井上通敏

資料2

平成10年度 第1回近畿エイズ拠点病院医療従事者研修会プログラム

◇医師コース

前回開催した研修会（平成10年3月10日）のアンケートの結果、多くの先生方が「治療の動向」、「実際の症例の共有」などを希望しておられました。今回、話題提供として当院での症例を数例提示し、HAARTの導入例と、その失敗例の対策を先生方と具体的に検討したいと思います。

日時：平成10年7月28日（火）13：00～17：00

場所：国立大阪病院管理棟5階第一会議室

プログラム

- 13：00～14：30 テーマ1「HAARTの導入例」
- 14：30～14：45 休憩
- 14：45～16：00 テーマ2「HAART失敗例とその対策」
- 16：00～17：00 症例提示とディスカッション

●プログラム(研修内容)

総合司会 長見充彦

時間	内容	担当者
12:30	受付開始	荒木・伊藤
12:55	オリエンテーション	長見充彦
13:00	開会 開会挨拶	副看護部長
13:10	講義 テーマ「HIV/エイズ患者看護の動向」 (50分)	織田幸子
14:00	パネルディスカッション テーマ「HIV/エイズ患者看護の実際」 ①HIV/エイズ患者看護における コーディネーターの役割—国際医療セ ンターでの研修を通して—(20分) ②HIV/エイズ患者看護における 感染防止の実際—海外研修を通して— (20分)	司会 小林陽子 杉田和美 笹山久美代
14:50	休憩	
15:00	③当院におけるエイズ患者の出産時の看護 (20分) ④HIV/エイズ患者からの学び—ワ キングを通して—(20分)	村井松美 荒木輝美 繁浦洋子 伊藤文代
16:20	質疑応答	
16:30	まとめ	小林陽子
16:50	アンケート	長見充彦
17:00	閉会	副看護部長

◇看護職コース
プログラム

目的 HIV/エイズ患者の看護の動向を知り、看護実践能力を高める

目標 ①HIV/エイズ患者看護の動向と看護の実際を理解する。②HIV/エイズ患者の理解を深める。③HIV/エイズ患者看護におけるコーディネーターの役割を理解する。

日時:平成10年7月28日(火)13:00~17:00

場所:国立大阪病院地域医療センター3階

対象:近畿エイズブロック拠点病院 41施設

看護婦・助産婦 33名

◇薬剤師コース

日時:平成10年7月28日(火)13:00~17:00

場所:国立大阪病院地域医療センター2階

プログラム

13:00~15:00 テーマ1 「HIV感染症治療薬と服薬指導上の注意」

15:00~15:15 休憩

15:15~16:30 テーマ2 「服薬指導を行うに当たっての問題」 —各施設から指導方法についての報告—

16:30~17:00 質疑応答

司会 近畿地方医務局・中野恵医療課長
議事

1.「HIV診療支援ネットワークシステムについて」

14:05~14:25

厚生省政策医療課 塚原太郎高度・専門医療指導官

2.「入力マニュアル及び保守管理等について」

14:25~15:25

IBM内海担当官

(休憩)

15:25~15:40

3. 質疑応答

15:40~16:20

4. 意見交換 (HIV診療状況について)

16:20~17:00

5. 閉会挨拶

17:00~17:05

近畿ブロックエイズ拠点病院長(国立大阪病院長)

(終了後、懇親会を予定しております)

資料4

平成10年度 近畿ブロック都道府県・エイズ拠点病院等連絡会議議事

平成11年2月25日(木) 国立大阪病院第一会議室

受付

14:00~14:30(30)

1.「エイズ医療システムのあり方について」

保健医療局エイズ疾病対策課 課長補佐 池田千絵子

14:30~14:40(10)

2.「HIV感染者の障害年金について」

社会保険庁運営部企画年金管理課 管理班長 助川正博

14:40~14:50(10)

3.「エイズ診断・治療の最前線について」

エイズ治療・研究開発センター 臨床研究開発部長 岡 慎一

14:50~15:35(45)

・特に新しい抗HIV薬及び抗日和見感染症薬の使用方法・副作用について (30)

・質疑応答 (15)

4.「国立大阪病院におけるエイズ医療の取り組みについて」

国立大阪病院 総合内科医長 白阪琢磨

15:35~15:55(20)

5.「HIV診療支援ネットワークシステムについて」

国立病院部政策医療課 課長補佐 桐生康生

15:55~16:30(35)

6. 患者等からの要望

16:30~16:50(20)

7. 質疑応答

16:50~17:00(10)

8. 終わりに

近畿ブロックエイズ拠点病院長(国立大阪病院長)井上通敏

17:00~17:05(05)

資料3

HIV診療支援ネットワークシステム(A-ネット)講習会議事


平成11年2月5日(金) 国立大阪病院第一会議室

受付

13:30~14:00

●「近畿HIV/AIDSセンター」ホームページより

近畿HIV/AIDSセンター
 総合内科 免疫感染症外来
 臨床研究部 ウイルス研究室



最新更新日 平成11年4月21日


あなたは**匿名**入目の訪問者です。(99年1月11日から)

HIV診療に関心のある医師(レジデント)は下記e-mailまでご連絡下さい。

- **ご利用にあたって**
- **What's New**
- **診療案内**
- **交通案内**
- **スタッフ紹介**
- **抗HIV薬情報**
- **我が国におけるHIV感染の状況**
- **近畿ブロックエイズ拠点病院マップ**
- **近畿ブロックでの取り組み**
- **HIV感染者と福祉**
- **ライブラリー**
- **HIV関連リンク集**


Back to [国立大阪病院のページ](#)。(診療医者のページへ)


〒540-0008
 大阪市中央区船場町2-1-14
 国立大阪病院 総合内科免疫感染症外来
 国立大阪病院 臨床研究部 ウイルス研究室
 近畿HIV/AIDSセンターの存在について
 ご意見・ご感想は、下記のe-mailでお願ひ致します。



ライブラリー

このページのリンク先にはPDFを使用しているため、Acrobat Readerが必要です。

 をダウンロードするとダウンロードが楽になります。
 ご意見・ご感想は、以下のメールアドレスにお願ひいたします。
 e-mail: hkokane@nkh.co.jp



- **HIV関連**
 - **サンフランシスコ海外研修記(99.02.08~02.19) (99.03.10) NEW**
 (海外研修を行った藤野医師がシカゴに就いて、レポートしています。)
 - **通称「第六回」シトウイルスと日和見感染に関する会議(99.02.09)**
 (米国シカゴで開催された(99.01.31~99.02.04)会議を総合内科藤野医師がレポートしています。)
 - **医療現場の現場から「エイズ患者・感染者の治療、看護」に対応(99.01.27)** 4.45KB
 (99.01.17読売新聞朝刊より転載許可済 国立大阪病院における医療看護の現場が掲載されています。)
 - **「第12回 日本エイズ学会 参加報告」情報伝達賞 賞状(99.01.14)** 8.49KB
 - **「第12回 日本エイズ学会 阪展アンケート調査」賞状 謝状(99.01.06)** 84.9KB
 (第12回 日本エイズ学会総会オフィシャルサテライトシンポジウムにて)
 - **「多剤併用療法の新着読書影印」 総合内科部長 白飯 敬福(98.11.01)** 18.1KB
 (1998年 朝日新聞メディカル朝日9月号より転載許可済)
 - **「第12回 国際エイズ会議関連報告」総合内科部長 白飯 敬福(98.11.01)** 5.17KB
 - **プロテアーゼ阻害剤・最近のトピックス(98.10.07)** 183KB
 提供 ケアーズ機関誌26号より転載許可済
 - **CD4-RNA量・HAART療法とは？(98.10.07)** 261KB
 提供 兵庫医科大学 第二内科医師 日笠 勉
 国立大阪病院総合内科に招聘医師として第2・第4月曜日勤務
- **血友病関連**
 - **血友病関連講演6.自己注射講習会開催(98.10.07)** 261KB
 提供 ケアーズ機関誌26&27合併号より転載許可済

HIV感染者の福祉サービスについて
 近畿HIV/AIDSセンター

1. 免疫機能障害における身体障害者認定について

平成10年4月1日(水)から免疫機能障害(HIV感染症)が身体障害者認定の対象となりました。身体障害者手帳を取得すれば、以下の更生医療や障害者医療等の医療補助、ホームヘルプサービス、税金の控除等のサービスを利用できます。

申請窓口 各市町村の障害者手帳担当部署
2. 更生医療の給付について

更生医療の給付とは、HIV/AIDSに關してかかる医療費・検査費・薬剤費(他科受診も含む)について、所得に応じた一部負担金以上が公費負担になる制度です。

更生医療は、指定医療機関以外には取り扱いません。もしも、指定医療機関以外で受診すると、医療費の支払いは通常の健康保険の負担割合と同じ支払いになります。

申請窓口 各市町村の更生医療担当部署
3. 障害者医療について

障害者医療とは、身体障害者手帳の1級~2級(地方自治体によっては3級も対象)をお持ちの場合、障害者医療受給者証の申請をすれば、医療費が全額公費負担になる制度です。

ただし、この制度は、次のような制限があります。

 - ① 所得制限(年収)
 - ② 組合保険の種類によっては、利用できません。

注意 患者さんの居住地(住民票を置いている府・県)以外で受診する場合は、医療費を一度払っていたが、役所で還付請求をしていただく形になる場合や、この制度が適用にならない場合がありますので、市役所・福祉事務所等に確認して下さい。

申請窓口 各市町村の障害者医療担当部署
4. 更生医療と障害者医療の違い


	対象者	対象疾患	医療費負担率 (所得に応じた)
更生医療	身体障害者手帳所持者	HIV関連疾患	一部負担あり
障害者医療	1級~2級所持者(地方自治体により3級もあり)	全疾患	なし
5. 障害年金について

平成10年2月より、HIV/AIDSが障害年金の対象になりました。免疫機能障害ということでも、申請が可能です。詳細は、以下の窓口でお聞き下さい。

窓口 障害基礎年金 市役所国民年金課
 障害厚生年金 社会保険事務所

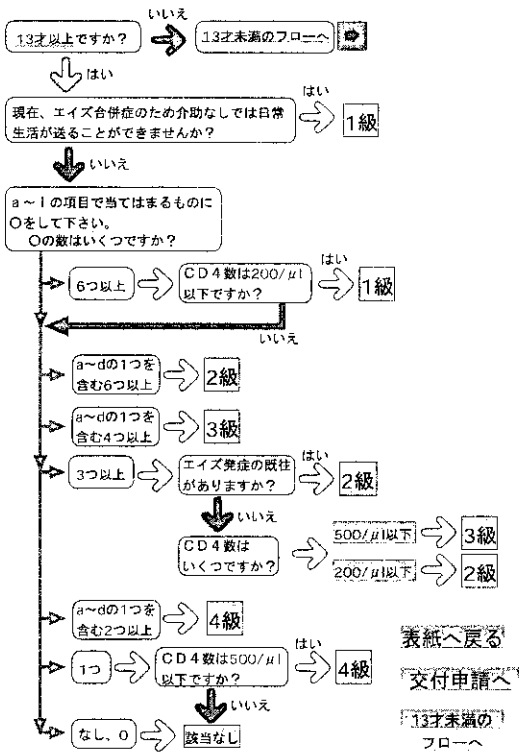
[TOPページへ](#) [HIV感染者と福祉へ](#)

HIV感染者の 身体障害者手帳 について

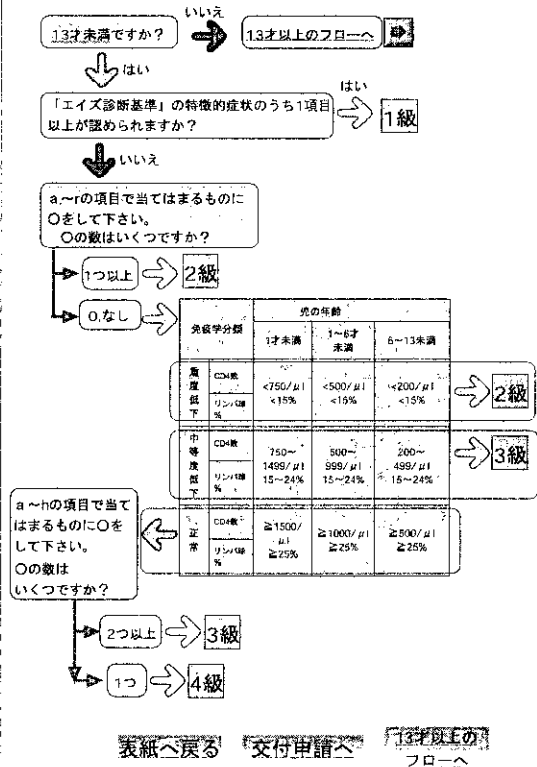


近畿HIV/AIDSセンター
 総合内科 免疫感染症外来
 臨床研究部 ウイルス研究室

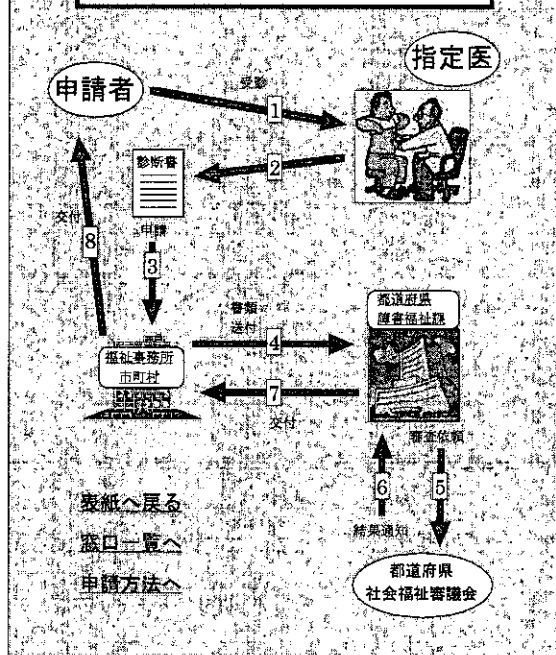
ヒト免疫不全ウイルスによる 免疫の機能障害



ヒト免疫不全ウイルスによる 免疫の機能障害



身体障害者手帳交付事務の流れ (都道府県)



*** 申請の方法 ***

- 申請の場所 → 各市町村役場や 福祉事務所
- 身体障害者手帳窓口の一覧を参照してください。窓口一覧へ
- 申請に必要なもの →
1. 身体障害者(児)手帳交付・再交付申請書
 2. 身体障害者診断書・意見書 (免疫機能障害用)
 3. 写真 (縦4×横3cm、1年以内の脱帽した上半身の写真)
 4. 印鑑

- 手帳受領の方法
1. 受領の場所 → 申請の場所
 2. 受領に必要なもの → 印鑑
- 市町村によっては、
・代理人による申請・受領
・郵送による申請・受領
を扱っています。
詳しくは、各市町村窓口へおたずね下さい。
- 窓口へ
前へ
表紙へ戻る

近畿ブロック 身体障害者手帳 申請窓口一覧

滋賀県 ▶

京都府 ▶

大阪府 ▶

奈良県 ▶

兵庫県 ▶

和歌山県 ▶

表紙へ戻る

前ページへ

身体障害者手帳担当部署 大阪府		<前ページ>	次ページ>
池田市	保健福祉部福祉サービス課障害福祉係	TEL0727-54-6256	FAX0727-52-5234
泉大津市	福祉部障害福祉課	TEL0725-39-1131	FAX0725-21-0412
鳥取野市	高齢障害福祉課障害福祉係	TEL0724-63-1212	FAX0724-63-8500
和泉市	健康福祉部老人障害福祉課	TEL0725-41-1551	FAX0725-44-0111
茨木市	福祉部障害福祉課	TEL0726-20-1636(調)	FAX0726-27-1632(調)
大阪市	京生息障害者施設推進部障害福祉推進課在宅支援係	TEL06-208-8073	FAX06-202-6952
	北区役所健康福祉サービス課	TEL06-982-1300(代)	FAX06-362-3923
	都島区役所健康福祉サービス課	TEL06-352-1221(代)	FAX06-352-4584
	福島区役所健康福祉サービス課	TEL06-462-1441(代)	FAX06-462-4854
	此花区役所健康福祉サービス課	TEL06-462-1331(代)	FAX06-462-2842
	中央区役所健康福祉サービス課	TEL06-264-8500(代)	FAX06-264-8285
	西区役所健康福祉サービス課	TEL06-538-7301(代)	FAX06-538-7319
	港区役所健康福祉サービス課	TEL06-572-5261(代)	FAX06-572-9514
	大正区役所健康福祉サービス課	TEL06-553-3311(代)	FAX06-553-1987
	天王寺区役所健康福祉サービス課	TEL06-772-1131(代)	FAX06-772-4906(調)
	旭区役所健康福祉サービス課	TEL06-633-3101(代)	FAX06-633-9272
	高野区役所健康福祉サービス課	TEL06-472-1241(代)	FAX06-477-9837
	東山区役所健康福祉サービス課	TEL06-301-1241(代)	FAX06-885-0537
	東淀川区役所健康福祉サービス課	TEL06-327-1031(代)	FAX06-327-2840
	東淀川区出張所健康福祉サービス課	TEL06-922-0731(代)	FAX
	東成区役所健康福祉サービス課	TEL06-972-1212(代)	FAX06-972-2781
	生野区役所健康福祉サービス課	TEL06-717-1121(代)	FAX06-717-1162
	船場区役所健康福祉サービス課	TEL06-962-3121(代)	FAX06-952-3249
	城東区役所健康福祉サービス課	TEL06-932-1351(代)	FAX06-932-1285
	鶴見区役所健康福祉サービス課	TEL06-913-1111(代)	FAX06-913-6237
	西淀川区役所健康福祉サービス課	TEL06-621-1421(代)	FAX06-621-1434
	住之江区役所健康福祉サービス課	TEL06-893-1234(代)	FAX06-886-2039
	住吉区役所健康福祉サービス課	TEL06-692-1161(代)	FAX06-682-4422
	東淀川区役所健康福祉サービス課	TEL06-629-7321(代)	FAX06-629-4597
	平野区役所健康福祉サービス課	TEL06-700-0194	FAX06-700-0194
	高麗区役所健康福祉サービス課	TEL06-859-1121(代)	FAX06-859-2259
	大淀区役所健康福祉サービス課	TEL06-553-3311(代)	FAX06-553-1987
大阪府	障害福祉課在宅福祉係	TEL06-941-0351	FAX06-944-6674
貝塚市	健康福祉部保健課障害福祉係	TEL0724-23-2151	FAX0724-33-1082
柏原市	福祉事務所社会福祉課障害福祉係	TEL0728-72-1501	FAX0729-72-2200
交野市	福祉サービス課	TEL0720-93-6400	FAX0720-91-6241
門真市	保健福祉部障害福祉課	TEL06-902-1231	FAX06-905-9510
河内長野市	保健福祉部福祉課福祉係	TEL0721-53-1111	FAX0721-55-1435
岸和田市	保健福祉部障害福祉課	TEL0724-23-2121	FAX0724-31-0590
堺市	障害福祉課	TEL0722-29-7818	FAX0722-29-8918
	福祉課事務所	TEL0722-33-1101	FAX0722-29-7810
	西福祉課事務所	TEL0722-75-1911	FAX0722-75-1919
	北福祉課事務所	TEL0722-63-7807	FAX0722-64-0788
	中福祉課事務所	TEL0722-70-8191	FAX0722-70-8191
	東福祉課事務所	TEL0722-87-8110	FAX0722-87-8117

身体障害者手帳担当部署 大阪府		<前ページ>	次ページ>
狭山市	保健福祉部福祉課福祉係	TEL0722-90-1810	FAX0722-90-1818
四条市	保健福祉部福祉課福祉係	TEL0723-66-0011	FAX0723-66-9596
吹田市	保健福祉部福祉課福祉係	TEL0720-77-2121	FAX0720-79-2596
吹田市	障害福祉課	TEL06-384-1231	FAX06-388-1031
泉南市	社会福祉課障害者福祉係	TEL06-393-1111	FAX06-393-9031
泉南市	健康福祉部社会福祉課障害福祉係	TEL0724-83-0001	FAX0724-83-7687
大東市	福祉保健部福祉課障害福祉係	TEL0720-75-6590	FAX0720-73-3838
富石市	保健福祉部社会福祉課障害福祉係	TEL0722-65-1001	FAX0722-65-3100
高槻市	福祉事務所障害福祉課	TEL0728-74-7164	FAX0726-74-7188
豊中市	福祉保健部福祉課障害福祉係	TEL06-898-2224	FAX06-858-1122
富田林市	保健福祉部福祉課障害福祉係	TEL0721-25-1000	FAX0721-25-3123
寝屋川市	福祉事務所障害福祉課	TEL0720-24-1161	FAX0720-38-1191
羽曳野市	保健福祉部福祉課障害福祉係	TEL0729-58-1111(代)	FAX0729-57-1238
阪南町	保健福祉部福祉課障害福祉係	TEL0724-71-5678	FAX0724-73-3504
東大阪市	東福祉課事務所福祉係	TEL0729-88-6617	FAX0729-88-6620
	中福祉課事務所福祉係	TEL0729-62-1331	FAX0729-62-1525
	西福祉課事務所福祉係	TEL06-784-7731	FAX06-784-8237
枚方市	障害福祉課	TEL0720-41-1221	FAX0720-44-1660
藤井寺市	健康福祉部福祉課福祉係	TEL0729-39-1111	FAX0729-54-6606
松原市	保健福祉部福祉課	TEL0723-34-3115	FAX0723-37-3007
茨木市	総合保健福祉部保健福祉課福祉課福祉係	TEL0727-27-9500	FAX0727-27-3539
守口市	障害福祉課	TEL06-992-1221(代)	FAX06-991-2494
八尾市	保健福祉部障害福祉課	TEL0728-24-3832(調)	FAX0729-22-4900

身体障害者手帳担当部署 滋賀県		<前ページ>	次ページ>
近江八幡市	福祉保健部福祉課いきいき福祉係	TEL0748-38-5908	FAX0748-32-0518
大津市	福祉保健部障害福祉課	TEL077-529-2745	FAX077-524-0085
草津市	健康福祉部社会福祉課障害福祉係	TEL077-567-2363	FAX077-581-2490
加賀川市	健康福祉部障害福祉課在宅福祉係	TEL077-528-3544	FAX077-528-4853
長浜市	健康福祉部市民福祉課障害福祉係	TEL0749-65-6514	FAX0749-64-1767
彦根市	福祉事務所福祉課障害福祉係	TEL0749-23-9990	FAX0749-25-1768
守山市	健康福祉部社会福祉課	TEL077-582-1123	FAX077-582-1138
八日市市	福祉事務所社会福祉課障害福祉係	TEL0748-24-5641(調)	FAX0748-24-1052

● 「近畿HIV/AIDSセンター」ホームページより

身体障害者手帳担当部署 京都府		<前ページ>	次ページ>
綴加市	福祉保健課福祉課福祉係	TEL0773-42-3280	FAX0773-42-8953
宇治市	保健福祉部障害者福祉課障害者福祉係	TEL0774-22-3141	FAX0774-22-7317
亀岡市	福祉事務所福祉課福祉係	TEL0771-26-5031	FAX0771-24-3070
京田辺市	社会福祉課福祉係	TEL0774-63-1122	FAX0774-63-5777
京都市	民生局福祉部障害福祉課在宅福祉係	TEL075-251-2385	FAX075-251-2840
	北区役所福祉部福祉係	TEL075-432-1181	FAX075-414-1217
	上京区役所福祉部福祉係	TEL075-441-0111	FAX075-441-7211
	中京区役所福祉部福祉係	TEL075-771-4211	FAX075-752-0670
	中京区役所福祉部福祉係	TEL075-812-0061	FAX075-822-3096
	東山区役所福祉部福祉係	TEL075-541-8315	FAX075-531-3284
	山科区役所福祉部福祉係	TEL075-597-3050	FAX075-594-2181
	下京区役所福祉部福祉係	TEL075-371-7101	FAX075-351-8752
	南区役所福祉部福祉係	TEL075-681-3111	FAX075-681-9555
	右京区役所福祉部福祉係	TEL075-881-1101	FAX075-861-8669
	西京区役所福祉部福祉係	TEL075-381-2121	FAX075-393-0887
	丹波区役所福祉部福祉係	TEL075-332-8111	FAX075-332-8420
	伏見区役所福祉部福祉係	TEL075-821-6650	FAX075-611-7212
	伏見区役所福祉部福祉係	TEL075-642-3101	FAX075-642-7129
	伏見区役所福祉部福祉係	TEL075-571-0003	FAX075-537-3785
京都市	保健福祉部障害者福祉課	TEL075-414-4588	FAX075-414-4597
綾羅市	福祉事務所福祉課福祉係	TEL0774-56-4033	FAX0774-54-1448
長岡京市	健康福祉部社会福祉課福祉係	TEL075-851-2121	FAX075-952-0001
福知山市	福祉部社会福祉課社会福祉係	TEL0773-24-7012	FAX0773-22-9073
舞鶴市	保健福祉部福祉課福祉係	TEL0773-66-1009	FAX0773-62-7857
宮津市	福祉部社会福祉課福祉係	TEL0772-22-2121	FAX0772-22-4801
向日市	社会福祉課福祉係	TEL075-931-1111	FAX075-932-0900
八幡市	福祉事務所地域福祉課福祉係	TEL075-983-1111	FAX075-981-8080

身体障害者手帳担当部署 奈良県		<前ページ>	次ページ>
生駒市	福祉保健課福祉課福祉係	TEL0743-74-1111	FAX0743-75-4879
香芝市	保健福祉課福祉課	TEL0745-76-2001	FAX0745-78-3830
橿原市	在宅福祉課	TEL0744-22-8108	FAX0744-25-7857
五條市	健康福祉部社会福祉課福祉係	TEL07472-2-4001	FAX07472-5-0294
御所市	福祉課福祉係	TEL0745-62-3001	FAX0745-62-5425
桜井市	社会福祉事務所福祉課社会福祉係	TEL0744-42-9111	FAX0744-44-2172
天理市	健康福祉部社会福祉課福祉係	TEL0743-63-1001	FAX0743-63-6378
奈良市	福祉部福祉課	TEL0742-22-1101	FAX0742-22-1814
奈良市	福祉部厚生課福祉係	TEL0742-34-1111	FAX0742-34-5080
大和郡山市	高齢福祉課福祉課福祉係	TEL0743-53-1151	FAX0743-55-2351
大和郡田原市	健康福祉部社会福祉課福祉係	TEL0745-22-1101	FAX0745-53-6090

身体障害者手帳担当部署 兵庫県		<前ページ>	次ページ>
相生市	健康福祉部福祉課福祉係	TEL07912-2-7167	FAX07912-3-4506
明石市	健康福祉課福祉課福祉係	TEL078-918-1344	FAX078-913-2101
赤穂市	福祉部福祉課福祉係	TEL07914-3-6807	FAX07914-5-3396
芦屋市	保健福祉部福祉課福祉係	TEL0797-38-2043	FAX0797-38-2178
尼崎市	中央福祉事務所	TEL06-489-6384	FAX06-489-6382
	小田福祉事務所	TEL06-488-5445	FAX06-488-5421
	大庄福祉事務所	TEL06-419-2941	FAX06-418-3191
	立花福祉事務所	TEL06-427-7778	FAX06-423-5523
	粟津福祉事務所	TEL06-432-5400	FAX06-432-5404
	關田福祉事務所	TEL06-492-1182	FAX06-492-2380
伊丹市	福祉部福祉課福祉係	TEL0727-84-8032	FAX0727-77-0294
小野市	福祉部社会福祉課	TEL0794-63-1000	FAX0794-63-1990
加古川市	高齢・障害福祉課福祉係	TEL0794-27-9210	FAX0794-22-8380
加西市	福祉部社会福祉課福祉係	TEL0790-42-8725	FAX0790-43-1801
川西市	保健福祉部厚生保健課	TEL0727-40-1111	FAX0727-59-3138
神戸市	保健福祉局障害福祉部育成課身体障害福祉係	TEL078-322-5231	FAX078-322-8044
三田市	福祉部厚生課福祉係	TEL0795-59-5075	FAX0795-62-1294
洲本市	市民福祉課福祉係	TEL0789-22-3321	FAX0789-22-1690
豊砂市	福祉部高齢・障害福祉課福祉係	TEL0794-43-8027	FAX0794-43-3144
宝塚市	健康福祉部福祉課福祉係	TEL0797-77-2077	FAX0797-72-8085
豊野市	福祉事務所福祉係	TEL0791-63-3131	FAX0791-63-0863
豊岡市	福祉部社会福祉課福祉係	TEL0796-24-7033	FAX0796-24-4516
西宮市	福祉事務所福祉課福祉係	TEL0798-35-3194	FAX0798-35-5300
西脇市	福祉事務所	TEL0795-22-3111	FAX0795-22-1014
姫路市	健康福祉局福祉課福祉係	TEL0792-21-2305	FAX0792-21-2374
兵庫県	健康福祉部福祉課福祉係	TEL079-341-7711	FAX078-382-2811
三木市	健康福祉部福祉課福祉係	TEL0794-82-2000	FAX0794-82-9943

身体障害者手帳担当部署 和歌山県		<前ページ>	次ページ>
有田市	福祉保健課福祉課	TEL0737-83-1111	FAX0737-82-1725
海南市	福祉事務所福祉係	TEL0734-83-8430	FAX0734-83-8429
堺町市	福祉保健課福祉課福祉係	TEL0738-23-5645	FAX0738-24-2380
新宮市	福祉課福祉係	TEL0735-22-5231	FAX0735-21-5231
田辺市	田辺市民総合センターから若狭課福祉係	TEL0739-26-4902(調)	FAX0739-25-3984(調)
橋本町	健康福祉課福祉係	TEL0736-33-1111	FAX0736-32-2515
和歌山県	福祉保健部福祉課福祉係	TEL0734-41-2035	FAX0734-32-5587
和歌山市	障害福祉課	TEL0734-35-1060	FAX0734-31-2840

国立大阪病院 総合内科(免疫感染症外来)のご案内



国立大阪病院は平成9年4月に「エイズ診療ブロック拠点病院」に指定され、近畿地区のエイズ診療の中核的役割を担うことになりました。エイズ診療について職員の研究を重ねるとともに診療機器および施設の整備を図っております。

本院におけるエイズ診療は、総合内科の「免疫感染症外来」が専門的に担当しており、ここが窓口になって必要に応じ他の診療科へ紹介いたします。免疫感染症外来は3名の専門医が担当し、月～金の毎日診療を行っています。また、エイズについての専任のカウンセラーや服薬について詳しく指導する薬剤師がいて、種々のご相談に応じています。

病院全体として、エイズ診療については患者さんのプライバシーにとくに留意することを徹底しています。どうか安心して受診して下さい。

院長 井上 通敏

初診受付 午前8時30分から午前11時

再診受付 午前8時30分から午前11時

診療担当医表

曜日	月	火	水	木	金
医師名	藤野	藤野	白阪	白阪	藤野

カウンセリング（平日 9:00～17:00）

お薬の相談や説明(随時)

休診日 土・日・祝日は全科休診(各診療科の休診日にご注意下さい。)

以下の診療科で全科対応しております。

総合内科	循環器科	齒科-口腔外科	呼吸器科
小児科	神経科	精神科	外科
整形外科	脳神経外科	心臓血管外科	小児外科
皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科
眼科	耳鼻咽喉科	気管食道科	リハビリテーション科
放射線科	灌漑科	麻酔科	消化器科

免疫感染症外来を初めて受診される方へ

一階初診受付にて手続き。初診申し込み用紙に総合内科を選ぶ。



検尿(二階)



二階 総合内科受付にて問診票に記入。

紹介状があれば提示し、問診票には連絡済みとご記入下さい。



診察



血液検査等



会計



薬のある方は薬局へ

再診の場合

- 予約をされている場合
直接、総合内科外来受付へお越し下さい。
- 予約をされていない場合
午前11時までの一階医事課の再診受付機で手続きをお願いいたします。

[TOPページへ](#)

[交通案内へ](#)

